

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-3-1	事業名	犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業				
担当	市民まちづくり局地域振興部区政課 中村 211-2252						
全体計画							
事業内容	「(仮称)札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」制定に向け、懇談会を設置し、安全で安心なまちづくりの望ましいあり方や必要な施策について検討するとともに、機運の醸成を図る啓発事業を実施していく。 また、条例制定後においては、歓楽街対策として「薄野地区」の環境改善や市民の防犯意識向上に向けた啓発事業の一層の充実のほか、地域防犯活動への効果的な支援等、実効性を確保するための各種事業を展開していく。		<年度別の事業内容>				
			[平成19年度] ・防犯カメラガイドラインの策定 ・歓楽街対策 ・啓発事業 ・条例制定に向けた調査	[平成20年度] ・条例制定に係る事業 ・歓楽街対策 ・啓発事業	[平成21年度以降] ・条例施行に伴う関連事業の実施 ・歓楽街対策 ・啓発事業		
事業内容・量・場所・規模・件数等			平成20年度事業内容(予算)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラガイドライン策定及び周知活動の実施(1,907千円) ・各区パネル展の開催(1,876千円) ・歓楽街対策の実施(1,362千円) ・地域防犯に関する総合ホームページの開設(207千円) ・条例制定に向けた調査の実施(4,148千円) ・事務費(2,268千円) 		<ul style="list-style-type: none"> ・条例制定(2,180千円) ・啓発事業の実施(1,300千円) ・シンポジウムの実施(1,386千円) ・歓楽街対策の実施(900千円) ・事務費(1,234千円) 				
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
(仮称)犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定		-	調査完了	制定	/	/	制定 (20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 防犯カメラガイドラインの策定にあたっては、同様の取り組みを行っている自治体の中で本市が初めて検討時に公募による委員を交えたほか、素案に対するパブリックコメントを実施した。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力]防犯カメラガイドラインの周知活動にあたり、民間事業者の協力を得て、幅広く情報の提供に努めた。 [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 地域防犯に関するホームページに、市民自らが活動内容等を投稿できるフォームを設けた。 歓楽街対策にあたっては、官民協働による事業が展開できるよう体制を構築している。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-3-1	事業名	犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業				
評価(成果)		課題					
<p>防犯カメラガイドラインは、策定後の積極的な周知活動により、事業者からの問い合わせが数多く寄せられ、パンフレットも増刷するなど、適正な防犯カメラの設置及び運用の促進につながり、パネル展の開催は、多くの市民が来場し、防犯意識の向上に一定の効果があった。</p> <p>また、薄野地区において、プラントの設置やバナーの掲出を行ったことにより、地域愛の醸成及び安全で安心な薄野のPRを図ることができた。</p> <p>さらに、条例制定に係るヒアリング等の実施により、本市の基本的な考え方や枠組みが整理できた。</p>		<p>防犯に係る事業の実施や地域における自主的な防犯活動が活発化する中で、活動団体間の連携強化や情報の共有等の防犯に関する多くの地域課題等が生じており、それらの解決策を講じる必要がある。</p>					
今後の事業の予定・方向							
<p>平成20年度中に条例を制定し、今後の札幌市の犯罪防止に対する姿勢を明確化する。また、条例制定後においては、基本計画を策定し、安全で安心なまちづくりの具体的な施策を展開していく。</p> <p>歓楽街対策については、環境美化の促進及び地域愛の醸成をテーマに、安全で安心な薄野地区の推進を図っていく。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	7,000	7,000	7,000	7,000	28,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	7,000	7,000	7,000	7,000	28,000
予算	事業費	7,000	7,000	-	-	14,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	7,000	0			7,000
実績	事業費	11,768	-	-	-	11,768	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	11,768				11,768
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				67.0%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
安全で安心なまちを1日も早く実現するため、公約上22年度の条例制定を2年度前倒して、20年度に制定することとした。本件に伴い、緊急に基礎調査を実施する必要が生じたため、係る歳出が増加した。							
[20年度]							